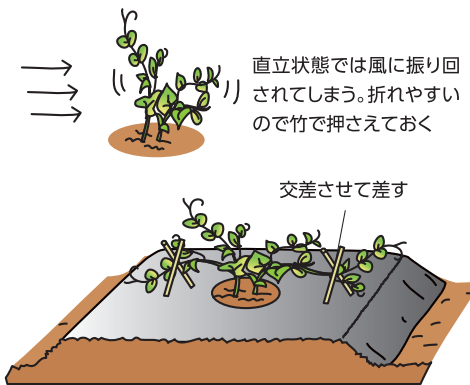


(図1)



栽培管理が楽で失敗も少ないサヤエンドウ。自分で作ると店頭では得られない新鮮さが魅力になるので、家庭菜園には、ぜひ取り入れたい野菜です。

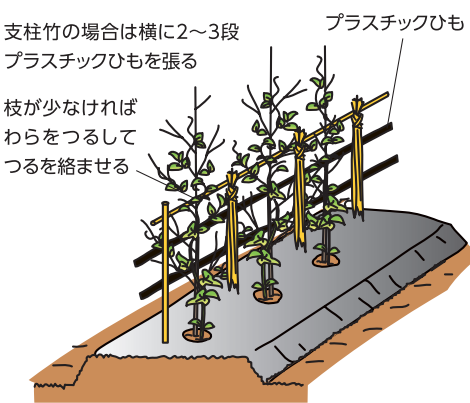
カロテン含有量が多く、分類は緑黄色野菜。ビタミンCや食物繊維も豊富。使い道はサラダや汁の実、煮物にと広く、飽きずに重宝します。

育て方のポイントを列挙すると次の通りです。



(図2)

生育盛期の姿



種まきの適期は、10月20日前後が目安です。あまりに早まきすると、大きく育つてから厳しい寒さに遭つことになるため、寒害を受けやすくなります。種袋の説明と地域の慣行をよく調べて、まきどきを決めましょう。

サヤエンドウは茎や葉が柔らかく、越冬中に風で株が振り回され、

- (1) 連作畑を避ける
 - (2) まきどきを誤らない
 - (3) 冬に株が風で振り回されるのを防ぐ
 - (4) 伸び出したつるがよく絡み付くようしっかりとした支柱を立てる
- サヤエンドウは、野菜の中でも特に連作を嫌う性質があります。4~5年はエンドウを作つたことのない畑で育てましょう。

茎が折れたり枯死したりしやすい植物です。対策として、草丈が15~20cmに伸びたら短い支柱を交差させて立て(図1)、株を固定したり、畝に沿って稲わらを半折りにし下方を土に埋め、簡易の風よけを作つたり、べた掛け資材で覆つたりして寒風から守つてやります。

越冬後、草丈が20~25cmぐらいになる頃には、巻きひげが出るので早めに支柱を立て、これに絡ませるよう、つるを誘引してやりましょう。

支柱材としては、細い枝がたくさんついたサヤや木の枝が最適ですが、入手できない場合は木くいに横竹を渡し、所々に細わらをつるす方法もあります(図2)。それらの資材もなければ果菜用の支柱材を立て、横に3段ほどプラスチックひもを渡したり、キュウリの誘引ネット(網目15cmが目安)を取り付けるなど、いろいろ工夫してみましよう。

肥料を多くやる必要はないので、前作に野菜を育てた畑なら、越冬前に畝に沿って軽く溝を作り、1株当たり化成肥料大さじ2杯ぐらいを施します。冬を超えて本支柱を立てた後に、畝の反対側に同量を施し、土を盛り上げて畝を形作る程度で足りるでしょう。

暖かくなると、どんどん生えてくる雑草が、頭を悩ませます。この「ハイバーX」は、ポリ容器入りの粒剤なので、お手軽に散布できます。

効果も強力で、広葉雑草・イネ科雑草に対して1年生・多年生を問わず除草効果を発揮します。さらに、長期間(約6か月)にわたって、雑草の発生を抑えます!

1本で約20坪(70㎡)散布できますので、ぜひ一度お試しください。

・樹木や花、作物にも影響があるため、近くで使用しないでください

・松は、特に強く影響を受けるので、ご注意ください

・空地や住宅・倉庫の周囲、駐車場、墓地などの散布に向きません

※各営農センターへお気軽にお問い合わせください

肥料・農薬のご紹介

頑固な雑草にお悩みなら…
非農耕地用除草剤

ハイバーX粒 (1kg)

今月の農家さん

自ら経営する楽しさ

守山市今浜町

寺田 彦次郎さん(51才)



今浜町にある5棟の温室で電照菊を育て、年間35万本もの出荷をしている寺田さん。「自分で経営してみたい」という思いから就農し、今年で22年目になるそうです。

綺麗に咲いて、長持ちする菊を育てるため、虫よけネットをかけたり、消毒をしたり、天気予報を見ながら電照や温度の管理をしたりと、1年中大忙しです。

寺田さんは「菊は思い通りの時期に咲かない事もありますし、自ら喋らないので、どのよう

に世話をすればいいか色々考えさせられます。でも、無事に花が咲けば嬉しくなりますし、菊を買った人に『寺田さんの菊は長持ちするね』と言って貰えると喜びもひとしおです」と笑顔で話します。

最後に寺田さんは、新しく農業を始める方に「仕事として農業を営むには、覚悟が必要です。でも、自分で販路を作ったり、経営したりするのは楽しいですよ」とエールを送りました。

営農情報

1. 除草剤の仕組みと水管理

除草剤は、溶けだした有効成分が数日かけて土壌表面に薄い「処理層」を作り、この層に雑草の芽などが触れることで除草効果を発揮します。

処理層は少しずつ分解されるため、いずれは除草効果がなくなりますが、できるだけ長持ちさせるため、次の点に注意しましょう。

○ 除草剤を散布する時は、苗を水没させない範囲で水深を深く保つ(5cm以上が目安)

○ 田面が露出しないように水をしっかりと張り、水口と水尻を閉じる

○ 除草剤散布後1週間は、原則として田面が露出しても入水・落水はしない

○ 処理層を壊さないよう、圃場には入らない

2. 防除時期の注意について

雑草もイネと同じ様に、葉の枚数で成長度合いを示します。これを「葉齢」といいます。

除草剤には「殺草葉齢限界」といって、除草剤ごとに防除できる

雑草の最高葉齢が決められており、雑草が大きく育ちすぎていると、十分な除草効果が得られません。

例えば、初中期一発除草剤「バッチリ」や「アップパレZ」の場合、「バッチリ」はノビエ2.5葉期まで、「アップパレZ」はノビエ3葉期まで除草効果が得られますが、これを超えると十分に効果を発揮できません。

左の図を参考に、雑草の葉齢を確認し、適期防除を行きましょう。また、同じ名前の除草剤でも「フロアブル」「粒剤」「ジャンボ剤」など薬剤の形状によって使用適期が異なる場合があります。ご使用の際は、必ずラベルをお読みください。

葉齢の数え方(ノビエの場合)

葉齢は、葉が伸びきったときの大きさを10等分して診断する。→この場合は、伸びきったときの半分の大きさと予測して、2.5葉期となる。

